

SSKS 療育ねっとわーく川崎

2019年3月20日発行
No.218 (2800部)
NPO法人
療育ねっとわーく川崎
発行者 江川 文誠
編集者 谷 みどり

Q それはどのようなものですか?
A 視線入力というのは、パソコンのマウスポインタが、目で見たとおりに移動して、自分の視線に合わせてたところで、クリックやドラッグができて、マウスの代わりになります。

Q 首が痛いという症状は、パソコンの時代特に障害者にとってパソコンは欠かせないものから、動作に負担があると困りますね。答えから言うとあります。視線入力や音声入力といったものがあります。

Q 首が痛くてパソコンを使うのが大変になってきてしまいました。今使っているパソコンも特殊です。パソコンを立てた左側の四角い台に、マウスに代わるボタンが全部で16個付いています。それを長い棒を口に咥えてキーボードをついたりマウス変わりのボタンを押しているのですが、もっと首に負担がかからない物は無いのでしょうか?



Q また音声入力というのは、専用のマイクなどを使って、そこに話すことによって、話した言葉がパソコン(例えばワード)に入力表示されます。

Q 価格はどのくらいですか?

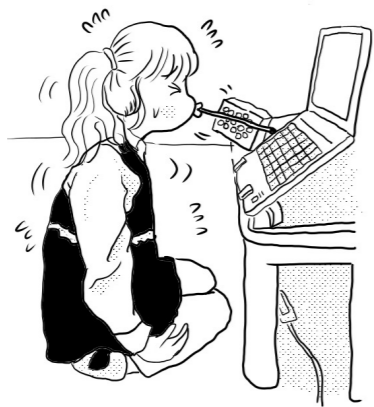
A いろいろな製品があり、価格はピンキリですが、視線入力の代表的なもので、約2万円、音声入力は使っているパソコンのOS(ウィンドウズ10とかウィンドウズ7、またはマック)により違ってきますが、ほとどのパソコンでも音声認識というものが最初から備わっています。

以前は音声入力ソフトを購入してパソコンに入れるというのが一般的でしたが、ウィンドウズ10以降はパソコン自体の音声認識を使用して、音声入力するのが最近の主流です。また機器そのものに視線入力を備え、文字入力や家電の操作なども行えるものもあります。

今月号の目次

- 1 こんなときどうするの.....
- 2 障害者差別解消法(当事者から).....
- 3 IT関連等の福祉機器情報.....
- 4 お知らせ.....

- 5 療ねひろば.....
- 6 被災地支援の取り組み.....
- 7 タイシヨシキの映画中毒.....
- 8 明日香のたまご.....




レンタル小箱スペース OPEN

2019.4.1より受付start!

★ CafePOP! ☆

レンタル小箱スペースオーナーさん大募集!

- CafePOP!内にあるスペースをレンタルすることができます。(3か月単位) ご自慢の手作り作品など販売OK!
- レンタルスペース売上げの5%を手数料として申し受けます。
- どなたでもご利用できます。
- 詳細の利用方法や規約についてはお問合せ下さい。

〒214-0014
川崎市多摩区登戸2974-1グランデMINAMI
【営業時間】11:00~15:00

お問い合わせ:七川、宇野
044-455-7468

発行所 郵便番号一五七〇〇七三 世田谷区砧六二六二一
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価一〇〇円

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond
Tel 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981.jimdo.com/
(会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費一口 2000円

会員・賛助会員募集

障害者差別解消法（当事者家族から）

（前号からのつづき）
「私の娘は車椅子に乗っており、常時介護が必要ではありませんが、幼いころは一般の保育園、小学校は一般校のたんぽぽ学級と地域の中で過ごし、周囲にも恵まれてきました。」

ません。卒業に向けた実習先すら少なく、かろうじて3か所で実習を受けましたが、その中には定員オーバーで最初から通所が難しいところもありました。結局、卒業式の日まで進路が決まりませんでした。

かり、通所することになりました。そんな折、いくつかの偶然が重なります。自宅1階を貸し出したいたお店が退去することになり、場所ができたのです。ここを有効活用して娘の居場所を作れないかと考え、行政に相談した結果、NPO法人が生活介護を出来ることとわかり、卒業後の進路に困っていた麻生養護の後輩のお母さんたちと生活介護設立に向けたグループを作りました。

については、2年かけてロンドの総会で運営をお任せできないか提案した結果、ご理解いただき引き受けてくださることになりました。ほかにもロンド内外の多くの方々にご尽力いただいています。

中学校は、環境面を重視して中原養護学校に進みます。翌年には新設校の麻生養護学校に転校しましたが、どちらの学校も体力維持のためリハビリをしつかり行ってくれるなど、大変お世話になりました。

その後、3月末に何とか受け入れてくださる生活介護施設が見つ

とはいえ、施設の設定・運営について私たちは素人です。さらに考えを巡ら



せていたころ、麻生養護の先生も個人的に協力してくださり、いろいろと情報をいただきました。また運営

こうして生活介護『Live Life House Rock』が誕生して、所長の有友さんのおかげで音楽が溢れる楽しい空間で娘もお世話になっています。さらに今までもリハビリとして歩行訓練で体力を維持してきましたが、こちらも行ってもらえることになり、健康面でも安心出来ました。

IT関連等の福祉機器情報

紀さんの制度情報



ここ十数年のITの進歩にあわせ、障害者向けのさまざまな機器が開発・製造されています。今まで自分で出来なかったことが、これらの機器を使ってできるようになる場面が増えて来ました。

以下に、あると便利と思われるものを紹介します。

【環境制御装置】

家庭内のテレビやエアコンなど、赤外線リモコンに対応した家電製品や電動ベッド、福祉電話、玄関ドアホンなどを、身体機能に対応した入力スイッチ（呼吸・音声等）から操作ができる製品です。最近CMなどで流れている、スマートスピーカーも音声認識での環境制御装置として使われています。

【コミュニケーション支援機器】

身体障害・言語障害・聴覚障害・視覚障害の方それぞれに応じた機器があります。昔からと言ってよいかわかりませんが、文字盤を押すことによって機器が音声をだし会話ができるトーキングエイドはご存じの方も多いでしょう。トーキングエイドも進化して、今ではiPadやスマートフォンで使えるアプリもでています。また、今年の福祉機器展で、身体を全く動かさない筋活動（まばたきや呼吸等）による機器操作が困難な方であっても、生体電位信号を検出することができれば、操作ができる機器も展示されていました。

【パソコン周辺機器】

障害者にとってパソコンは大きなツールです。指で操作ができなくても、環境制御装置やコミュニケーション支援機器と同様に視線・呼吸・音声によってパソコンの操作を可能にする機器があります。

どれもさまざまな製品がありますので、購入前には必ずデモを行って、自分に本当に合っているか確認をして購入しましょう。また、製品によって制度を利用して購入出来る物と、そうでないものがありますので、専門機関によく相談してからの購入をおすすめします。

また神奈川県受託事業として、「かながわ障害者IT支援ネットワーク」という事業があります。かながわ障害者IT支援ネットワークHPより：障害者の社会参加を推進するために、障害者のIT機器の利用や活用を支援する事業です。パソコン等のITを利用したい当事者等の依頼に基づいて、IT支援団体を通してパソコンの設置やインターネット利用、ソフトをサポートするIT支援ボランティアを派遣し、障害者のIT利用を支援します。

<http://www.shien-network.kanafuku.jp/>
県の事業ですので、活用してみたいかがでしょうか。